

コスト等検証小委員会（報告）

平成29年8月4日
広域系統整備委員会事務局

- 平成29年 5月17日 第1回 コスト等検証小委員会
- 平成29年 6月26日 第2回 コスト等検証小委員会

今年度の検証スケジュールと今回の位置づけ

■ 平成29年度の検証スケジュール

検討事項	H29年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広域系統整備委員会				◇ 報告						◇ 報告		
コスト等検証小委員会		◇	◇	今回		◇	◇	◇	◇	(◇)	(◇)	(◇)
進め方		■										
調達プロセスの基本的な考え方			東京中部間					東北東京間				
東清水FC工事検証							■	■	■			
設備視察						■						

■ 平成29年度検証対象

- 東京中部間連系設備に係る広域系統整備
 - A) 当該整備計画における調達に関する基本的な考え方
 - ・事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方
 - ・主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方
 - B) 東清水FC増設工事
- 東北東京間連系線に係る広域系統整備
 - A) 当該整備計画における調達に関する基本的な考え方
 - ・事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方
 - ・主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方

} 今回

- 事業実施主体（東京電力PG、中部電力、電源開発）より示された、東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画（以下、本広域系統整備計画という。）の調達方法の基本的な考え方について、原則として市場原理を確保していると言えるか、コスト低減の取組がなされているかについて検証を行った。

対象の分類	検証項目	評価方針（比較対象）
1. <u>広域系統整備計画に係る事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方</u>	事業実施主体の <ul style="list-style-type: none"> ・ 発注単位の考え方 ・ 入札方法の考え方 ・ 落札方法の考え方 ・ 海外調達の考え方 	① 同業他社（一般送配電事業者）との比較 ② 電気事業以外のインフラ系企業との比較 ③ 公共工事との比較 ④ 本広域系統整備計画の特性の確認
2. <u>主要設備※ごとの発注方式の基本的な考え方</u>	主要設備ごとの <ul style="list-style-type: none"> ・ 発注単位の考え方 ・ 入札方法の考え方 ・ 落札方法の考え方 ・ 具体的なコスト低減の方策 	① 事業実施主体の「調達プロセスに関する基本的な考え方」との整合性を確認 ② 同業他社（一般送配電事業者）との比較 ③ 本広域系統整備計画の特性の確認

※主要設備・主要工事

- ・ 主要設備（資材）：FC、変圧器、引出設備、鉄塔材、電線
- ・ 主要工事（請負）：土木工事、建築工事、送電工事

- なお、広域連系系統の設計等に専門的な知見を有するニュージエックへ評価作業を委託し、検証を実施した。

■ 検証結果

➤ 事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方

- ✓ 事業実施主体3社の調達プロセスに関する基本的な考え方は、入札方式においては、**一般競争入札もしくは指名競争入札**を前提に検討することとしている。
- ✓ 発注単位、入札方式、落札方式および海外調達の考え方において、**同業他社、インフラ系他事業者、公共工事と比較しても遜色がなく、市場原理を確保した考え方**であると言える。

➤ 主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方

- ✓ 事業実施主体3社の主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方は、入札方式においては、以下のとおり。
 - **FC**については、**一般競争（公募を実施中）**
 - **FC以外の設備**は、上記の「調達プロセスに関する基本的な考え」と同様に、**一般競争入札もしくは指名競争入札**を前提に検討。
- ✓ 発注単位、入札方式、落札方式およびコスト低減の方策の考え方において、**同業他社と比較しても遜色がなく、市場原理を確保した考え方**であると言える。

■ 今後に向けて

- 今回の検証結果は、実施設計が終了していない段階、つまり発注の詳細を決定するために必要な条件が確定していない段階における考え方の検証である。
- 今後、**工事の進捗に応じ、事業実施主体が示した「調達に関する基本的な考え方」を基に、合理的な調達方法を引き続き検討し、工事を円滑かつ確実に進めていくことが望まれる。**

■ 検証の内容

① 調達プロセスの検証

調達プロセスの検証については、市場原理の阻害がないか（合理的な理由なく、競争入札以外を選択していないかなど）や、コスト低減の努力がなされているか等について、以下のとおり、コスト等検証小委員会にて検証を行うこととしてはどうか。

➤ 検証の項目・時期

1. コスト等検証開始から早期（基本的な考え方）

以下について、一括して検証を行う。

- ✓ 広域系統整備計画に係る事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方
- ✓ 主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方※

※ 当該時点で調達方法の見通しが立っているものについては、その詳細を確認

2. 「2. コスト検証の概要（検証の時期）」に示す時点

主要設備に対して、「1. コスト等検証開始から早期（基本的な方法）」で整理した**基本的な方法によらない場合や、「基本的な方法」の一括検証時点では複数の調達方法が想定される場合**は以下について検証を行う。

- ✓ 発注方式
- ✓ コスト低減施策の方法

（工事件名の特性に応じて、競争入札、提案型、共同調達、国際調達など）

検証項目・時期	調達プロセスの検証を行う項目例
1. コスト等検証 開始から早期（基 本的な考え方）	<ul style="list-style-type: none">➤ 広域系統整備計画に係る事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方<ul style="list-style-type: none">✓ 原則として市場原理を確保していると言えるか（競争入札を原則としているか等）✓ 随意入札とする場合の考え方✓ 競争入札とする場合において、一般競争入札と指名競争とする場合の考え方✓ 海外調達の考え方 ➤ 主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方※<ul style="list-style-type: none">✓ 主要設備・主要工事について、<ul style="list-style-type: none">• 発注方式の考えられる選択のパターンおよびその考え方• コスト低減方策の選択肢✓ 想定される主要設備・主要工事は、以下のとおり。<ul style="list-style-type: none">• 主要設備（資材）：F C、変圧器、引出設備、鉄塔材、電線• 主要工事（請負）：土木工事、建築工事、送電工事 <p>※ 当該時点で調達方法の見通しが立っているものについては、その詳細を確認</p>
2. 「2. コスト 検証の概要（検 証の時期）」に示 す時点	<ul style="list-style-type: none">➤ 発注方式の選定について<ul style="list-style-type: none">✓ 上記の「1. コスト等検証開始から早期（基本的な考え方）」における検証内容に沿った内容であるか。✓ 原則として市場原理を確保している発注方式となっているか（合理的な理由なく、競争入札以外を選択していないか等）✓ コスト低減の取り組みがなされた発注方式となっているか。